

第51回全日本ライフセービング選手権大会  
南関東ブロック予選会

テクニカルオフィシャル  
募集要項

南関東ブロック予選会 実行委員会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素はライフセービング事業に対し格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記のとおり「第51回全日本ライフセービング選手権大会南関東ブロック予選会」を開催いたします。  
つきましては、開催にあたり参加競技者の募集をいたしますので皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

記

- 大会名称 第51回全日本ライフセービング選手権大会南関東ブロック予選会
- 主 催 一般社団法人東京都ライフセービング協会  
一般社団法人神奈川県ライフセービング協会
- 日 程 2025年9月27日(土)～28日(日)
- 会 場 三浦海岸(神奈川県三浦市)
- 後 援 調整中
- 協 力 調整中
- 競技種目

[個人種目]

01. サーフレース(女子)
02. サーフレース(男子)
03. ビーチフラッグス(女子)
04. ビーチフラッグス(男子)
05. ビーチスプリント(女子)
06. ビーチスプリント(男子)
07. ビーチラン(2km)(女子)
08. ビーチラン(2km)(男子)
09. サーフスキーレース(女子)
10. サーフスキーレース(男子)
11. ボードレース(女子)
12. ボードレース(男子)
13. オーシャンウォーマン
14. オーシャンマン

[チーム種目]

15. レスキュー・チューブレスキュー(女子) \*4人1組

- 16. レスキュー・レスキュー(男子) \*4人1組
- 17. ビーチリレー(女子) \*4人1組
- 18. ビーチリレー(男子) \*4人1組
- 19. ボードレスキュー(女子) \*2人1組
- 20. ボードレスキュー(男子) \*2人1組
- 21. オーシャンウーマンリレー(女子) \*4人1組
- 22. オーシャンマンリレー(男子) \*4人1組

- 中学生が参加できる種目については「サーフスキーを使用する種目」および「ビーチフラッグス」を除くこととする。
- チーム代表者は、中学生が出場する場合、競技会参加規程をよく読んだ上で「中学生特別同意書」に入力すること。
- 種目の登録数は競技者1人につき3種目を基本とし、4種目以上に出場する場合は、追加参加費(1,000円/1種目)が必要となる。
- チーム種目については、各団体／クラブから各種目1チームのみのエントリーとする。

#### ■ 競技規則

日本ライフセービング協会(以下、JLA)より発行されている「JLA競技規則2025年版(2025.09.01版 2025.08.01公開)」および大会参加規程に則り実施をする。詳しくは大会参加規程7.を参照すること。

#### ■ タイムテーブル 別紙を参考とし、申込締め切り集計後の2次要項と共に公表する。

#### ■ 表 彰 表彰は行わない。

#### ■ テクニカルオフィシャルの選出

参加団体／クラブの競技者数に応じてテクニカルオフィシャルを選出すること。競技会運営を円滑に実施するため、大会参加規程9.を遵守すること。

なお、チーム選出のテクニカルオフィシャルについては、宿泊を準備することはないのでチームまたは個人で宿泊先を準備すること。チーム選出以外のテクニカルオフィシャル(一般公募)については、当実行委員会で宿泊を準備する。

#### ○ 一般公募のテクニカルオフィシャルについて(クラブ選出審判員は対象外)

- 交通費上限5,000円を支給する(公共交通機関の運賃で計算)
- 希望者のみ宿泊を手配する(民宿・素泊まり)

#### ■ 食事

下記のみ主催者から提供する

- 競技1日目(9月27日) 昼食
- 競技2日目(9月28日) 昼食

#### ■ 会場へのアクセス／駐車場について

三浦海岸(神奈川県三浦市南下浦町上宮田)<https://miura-info.ne.jp/sightseeing/beach-1/>

#### ■ ユニフォーム／服装

- 認定審判員ユニフォーム【帽子、審判員ユニフォーム上衣(ポロシャツ:白)、審判員ユニフォーム 下衣(短パン)】、ライフセービング競技規則、靴、靴下、笛、筆記用具(ペン)、雨具・防寒着(所属団体／クラブの名前が入った防寒着等は不可)を各自で持参すること。
- サーフエリア担当の場合、競技運営の都合で海へ入水する可能性があるため、上記準備物と併せて、水

- 着、ウェットスーツ、ラッシュガード、タオル等も各自で用意すること。
- IRB ジャッジ担当の場合、動きやすい服装であれば服装の指定はない。水着、ウェットスーツ、ラッシュガード、雨具・防寒着(いずれも所属団体／クラブの名前が入った物は不可)は各自で用意すること。上記審判員ユニフォームも必ず持参すること。
  - 競技会中の貴重品の管理は各自で行うこと。
  - 競技会中は両手の空くエストポーチ等を活用すること。※2019 年度より認定審判員ユニフォームの配布支給はしない。各自で購入手配するか、予め各団体／クラブや知人からの借用をする等において、用意すること。

#### ■ テクニカルオフィシャル会議

競技進行や競技実施における注意事項等について事前説明をする会議を、下記にて開催する。テクニカルオフィシャルは必ず出席をすること。詳細は 2 次要項で公表する。

[日 時] 2024 年 9 月 27 日(土)および 28 日(日) 競技開始前

[場 所] 会場 競技役員テント

#### ■ 申込方法

各種要項等を必ず熟読し、下記URLより申し込む。

<申込フォーム> <https://forms.gle/61p3RGq55Vd9bywM8>

#### ■ 申し込み締め切り日

2025 年 9 月 1 日(月)23 時 59 分 59 秒まで

#### ■ お問い合わせ

一般社団法人 神奈川ライフセービング協会

〒 254-0038 神奈川県藤沢市鵠沼松が岡 3-17-1

TEL:0466-60-2212 FAX:0466-60-2213

E-Mail: [compe@lifesaving.ne.jp](mailto:compe@lifesaving.ne.jp)

# 第51回全日本ライフセービング選手権大会南関東ブロック予選会 参加規程

## 1. 参加資格

競技者の参加資格は下記を満たしている者、若しくは日本ライフセービング協会(以下、JLA)が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 競技者は、競技会1日目当日満12歳以上でなければならない(但し、小学生を除く)。
- 1-2 競技者は、ライフセービングを志し、指定された資格を保有した状態で出場する競技会の過去1年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、または教育・普及活動に従事したものでなければならない(但し、中学生を除く)。
- 1-3 競技者は、JLAが認定するアカデミー資格を、申込締切日までに取得していなければならない(検定に不合格となった場合でも、競技会参加費は返還されない)。年齢区分別に対象資格は以下の通りとする。
- 一般 : 認定ライフセーバー資格 ※1
  - 高校生 : BLS資格及びウォーターセーフティ資格
  - 中学生 : ウォーターセーフティ資格
- ※1 認定ライフセーバー資格は、JLAアカデミー規程集「資格認定に関する規程」を参照すること。
- ※ JLAアカデミー資格が未取得の場合、ILSが定める次の資格に準拠する各国資格を取得済みであれば出場を認める。
- ILS Lifesaver → JLA ベーシック・サーフライフセーバー相当
  - ILS Beach Lifeguard → JLA アドバンス・サーフライフセーバー相当
  - ILS Instructor Beach Lifeguard → JLA サーフライフセービング指導員相当
- 上述の資格を取得・登録済みである証明書(資格登録証、など)を、申込時に提出をすること。
- 取得済みの資格を発行している国が ILS 資格に準拠していない場合は、本件対象外とする。
- (参考) ILS International Certificates <https://www.ilsf.org/certification/ilc-certificates/>
- 1-4 競技者は、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて2025年度の資格登録費及び選手登録費の支払いを完了していなければならない。
- 1-5 競技者は、1つの団体／クラブから出場しなければならない。
- 1-6 中学生は、特別同意書を提出しなければならない(別紙「中学生参加の特別同意書」を参照)。

## 2. 団体／クラブ構成

- 2-1 団体／クラブは、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて2025年度加盟登録が完了していなければならない。
- 2-2 本競技会に出場できる団体／クラブは、第1種、第2種、第5種、第6種に限る。但し、第5種クラブ又は第6種クラブから出場できる競技者(その年齢)は、競技会における最初の競技種目が行われる日に、学校教育法第17条第2項に規定された保護者による就学義務が発生する年齢を超過している者に限る。但し、超過は3歳以下とする。
- 2-3 1団体／クラブからの出場は1つまでとする。
- 2-4 団体／クラブは、同じ団体／クラブに所属する競技者により構成されていなければならない(競技者は、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて、「クラブ加入申請」または「継続加入申請」を行い、出場する団体／クラブへの所属を完了させること)。
- 2-5 チーム種目において、男女混合チームを編成することは認められない。

## 3. 団体／クラブ名称

参加団体／クラブ名称は、JLAに登録されている団体／クラブ名称とする。

## 4. 出場登録

- 4-1 参加競技者は、個人種目・チーム種目に関わらず、予め所定の用紙(電子データファイル)を用いて出場種目の登録をしなければならない(エントリー不備等が発覚した場合は、団体／クラブ代表者及びエントリー担当者にメールでのみ通知をする)。
- 4-2 競技者個人の技術や体力などを十分に考慮し、出場登録を行うこと。特に中学生競技者は、別紙「中学生参加の特別同意書」の内容を熟読し、ユース指導責任者および保護者が競技者本人の力量を判断し意思を確認の上、出場登録をすること。

## 5.団体／クラブ代表者

各参加団体／クラブは、団体／クラブを代表する者として代表者1名を置かなければならない。なお、団体／クラブ代表者と競技者はこれを兼任することが出来る。また、団体／クラブ代表者(やむを得ない場合は参加競技者の中から代表者に準ずる者)は必ず代表者会議に出席しなければならない。

## 6.ユニフォーム及び競技中の衣類

- 6-1 各団体／クラブは、式典や表彰式及び競技に適したユニフォーム、水着、キャップを持たなければならぬ。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り、競技中任意に着用することができる。
- 6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
- 6-3 キャップは、本競技会の申込締切日までに本協会に登録が完了していなければならぬ。また、キャップ登録管理番号を所定の用紙(電子データファイル)に明記すること。
- 6-4 キャップは、団体／クラブ全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。
- 6-5 団体／クラブのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

## 7.競技規則

本競技会は、JLA発行「JLA競技規則2025年版(2025.09.01版 2025.08.01公開)」及び下記の事項に則り実施をする(予定)。但し、下記の事項が競技規則よりも優先される。

- 7-1 本競技会は、代表者会議開始時刻に開始し、最終競技種目の終了から20分後に終了するものとする。但し、抗議、上訴又は規律審査に属する問題がある場合、最終解決まで競技会は継続する。
- 7-2 競技会にエントリーすることで、参加者は競技会を管理する関連規則、規程、手順を知る責任と義務があることを認識しているものとする。
- 7-3 決勝はA決勝、B決勝に分けず、1ヒート(A決勝に相当)のみとする。
- 7-4 予選後のラウンド、準々決勝・準決勝の組み合わせ配置は、直前の予選・ラウンドの結果に関係なく、ランダムに行われる。
- 7-5 ハンドラーは競技者と共に指定された時刻までにマーシャルに集合し、テクニカルオフィシャルの指示により整列すること。
- 7-6 ハンドラーは、原則として当該競技者と同じチームのメンバー(本競技会に競技者として出場登録している者)とする。やむを得ずチームメンバー以外からハンドラーを選出する場合、チーフレフリーが認める可能性があるのは、同様に本競技会に競技者として出場登録している者に限る。

## 8.競技器材

- 8-1 競技で使用する器材は、JLA発刊ライフセービング競技規則の「第8章 設備及び器材の規格と検査手順」の基準を満たさなければならない。
- 8-2 オーシャン競技で使用するバトン、ブイ及びレスキューチューブは、主催団体が用意する。
- 8-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか又は失格となる。

## 9.テクニカルオフィシャルの選出

- 9-1 参加団体／クラブは、参加競技者数(本戦会における個人種目の出場合計人数)に応じてテクニカルオフィシャルを選出しなければならない。選出する人数は以下の通りとする。

競技者数	5～10名	11～15名	16～30名	31名以上
選出数	1名	2名	3名	4名

何らかの理由でテクニカルオフィシャルが参加できなくなった場合は、必ず代わりの者を選出すること。両日に渡り必要人数の選出がない(競技会当日に必要人数のテクニカルオフィシャルの参加がない)団体／クラブは、本競技会への出場を認めない(団体／クラブ全体の不参加とする)。

- 9-2 選出するテクニカルオフィシャルは、JLAが認定する認定審判員資格を、申込締切期日までに取得していなければならない。また、本競技会に競技者として出場登録をしていないこと。

- 9-3 選出するテクニカルオフィシャルは、JLAが認定するBLS資格を、申込締切期日までに取得していなければならない。
- 9-4 選出するテクニカルオフィシャルは、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて2025年度の資格登録費の支払いを完了していなければならない。
- 9-5 選出されたテクニカルオフィシャルは「競技役員募集要項」に従い、指定された方法で申込を行うこと。
- 9-6 選出以外の個人で申し込み(一般公募)をしたテクニカルオフィシャルについては、「競技役員募集要項」に基づき、宿泊については主催者が負担する。選出されたテクニカルオフィシャルについては、宿泊の準備は、選出した各団体／クラブまたは個人で負担すること。
- 9-7 選出されたテクニカルオフィシャルは2日間を通じて参加できること(予定)。なお、2日間を通じてテクニカルオフィシャルを選出できないときは、やむを得ず、日ごとにテクニカルオフィシャルが入れ替わることを認める。

## 10.その他

- 10-1 本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、各種ウイルス等への感染リスクをゼロにすることは困難であることを理解し、感染リスクがあることを承諾した上で競技会に参加すること。また、感染リスクを含むあらゆるリスク、損失において参加する競技者自身による自己責任であることに同意すること。さらに、主催者が提示する感染対策を理解し従うこと。万が一、競技会参加者に感染が確認された場合、調査機関への情報開示、参加者へ連絡することに同意をすること(但し、その他の利用目的での第三者への提供はしない)。
- 10-2 競技会期間中に競技会主催者及び競技会主催者が認めた者が撮影した、競技者やチーム関係者の写真、映像及び録音した音声を、ライフセービングの広報の目的で使用したり、第三者に対して使用を許諾することがある。
- 10-3 競技会への出場登録時に提出したエントリー情報は、本協会もしくは本協会の許可する者がアナウンスをしたり、掲示、公開する場合がある。
- 10-4 競技会中に競技会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。なお、撮影された記録の提出を求める場合がある。
- 10-5 競技会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、競技会への参加や記録が取り消されることがある。

## 11.保険について

大会参加規程のもとでの参加者(競技者、競技役員)は、以下のJLAの保険に加入している。なお、賠償責任保険については、競技会参加者同士の事故には法律上の賠償責任が発生しないため、保険の対象とはならない(例:レース中、A競技者のクラフトがB競技者のクラフトにぶつかりB競技者のクラフトが破損した)。

競技会期間中の場合は、競技会本部事務局に直ちに報告すること。

### 【傷害保険】

死亡保険金額	500万円
後遺障害保険金額	20万円～500万円
入院保険金額	3千円
手術保険金額	入院保険金額の5倍または10倍
※代理店:株式会社タック(0466-87-5257)	

### 【感染見舞金補償保険】

死亡お見舞金	100万円
入院・通院日数31日以上	7万円
入院・通院日数8～30日	5万円
入院・通院日数7日以下	3万円
※代理店:株式会社タック(0466-87-5257)	

### 【団体賠償責任保険】

賠償責任保険(身体・財物)	2億円
賠償責任保険(管理財物)	50万円

賠償責任保険(人格権侵害) 50万円  
事故対応費 500万円  
見舞費用(死亡) 50万円  
見舞費用(後遺障害) 2万円～50万円  
見舞費用(入院) 2万円～10万円  
見舞費用(通院) 1万円～5万円  
※代理店:株式会社タック(0466-87-5257)

【個人賠償責任保険】

賠償責任保険(身体・財物) 1億円  
※1事故につき5千円の自己負担  
※代理店:株式会社第一成和事務所 営業第二部(03-5645-1071)

以上